小規模　交通　観光

島の狭い道でも往来可能な交通手段

技術/サービス概要

実現する地域社会のイメージ

『行きたいときに行きたいところへ行ける島』

- 島内で住み続け生活するには、移動手段が大きな役割を占めており、買い物、通院、コミュニケーションなど、必要な時に気軽に移動できる手段を構築する。
- 高齢化率の高い島で、低床・低速のグリーンスローモビリティを活用し、島内の公共交通として整備することで、安心して住み続けられる島であるよう環境を整える。
- また、島は観光地としても人気が出ているため、観光客の移動手段の確保にも一躍担い、グリーンスローモビリティの開放感や島民とのコミュニケーションの取りやすさなどの魅力を活かした公共交通として、利用料を負担してもらうことで持続可能な公共交通を目指してゆく。

技術/サービス情報

サービス分野（大）	交通/観光
サービス分野（小）	島内2次交通
サービス購入者	自治体、地元協議会
サービスの概要	定時定路の公共交通
サービス利用（受益）者	島民

サービスにより期待される効果	・公共交通の確保 ・高齢者の外出機会の創出
サービスの特性・優位性	運行管理・ドライバーも含めて島内の企業や人材で運営可能
対応可能な地理特性	・超小型車両が運行できる道がある地域 ・地域交通が限定的、もしくは無い地域

小規模　交通　観光

島の狭い道でも往来可能な交通手段

税別価格（参考）

	イニシャル	ランニング（月額）
車両費	–	約10万円～
運行費	–	約20万円～
人件費	–	運行費に含む
保険料	–	約1.6万円～

補足：
導入当初は車両をリースし、その後、その車両を中古で購入した場合の金額（車両維持費(車検等)及び運行費）

無料トライアルの有無
無

購入までの所要期間（参考）
約１年

その他（補足事項及び注意事項）
地元交通業者の理解が必要。また運行管理及びドライバーなど、島内でまかなえることが事業性の高さを有する。

サポート体制および関係者（導入時・導入後）

導入時

運行主体	市
運行管理	島内企業へ委託
ドライバー	島民
車体	リース車両

導入後

運行主体	市
運行管理	島内企業へ委託
ドライバー	島民
車体	市所有車両

企業情報

事業者名	ヤマハ発動機株式会社
所在地	静岡県磐田市新貝2500
設立年	1955年7月1日
URL	https://www.yamaha-motor.co.jp/gsm/
問い合わせ先	TEL：0538-32-1115

グリーンスローモビリティ／ヤマハ発動機株式会社

島の狭い道でも往来可能な交通手段

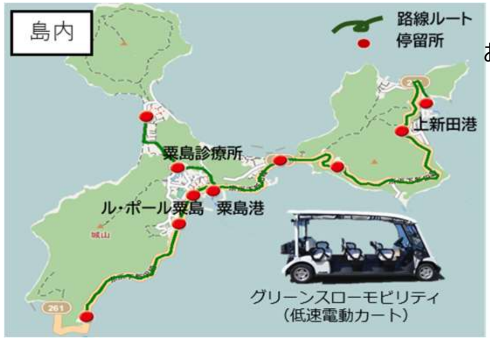
小規模　交通　観光

技術/サービスの導入実績

離島での導入事例

香川県三豊市／粟島／内海近接型

（人口）154人（R2　国調）



高齢化率80%超の島内における移動手段として運行中。

所要時間：15分

島内で診療所や商店、地域の会合への移動手段をまかない、また汽船との時間を接続させることで島内だけではなく市街地への外出機会を創出

（左）島民説明会の様子と
（右）島内に設置した時刻表

導入自治体・利用者からの声

- 実証調査では、観光客を対象としていたが、島内から是非島内の移動手段に、という声が多くあった。
- 高齢者の多い地域に、需要・定着性を持たせるには一定の時間は必要であり、短期間の実証だけでは得られなかった声が多く集まった。
- ドライバー及び利用者アンケートでは、運転しやすい、乗り降りしやすい、島の雰囲気に合っているなどの高評価が多かったことや、有償でもずっと続けてほしい、なくなっては生活できない、との声を受けるまでになりえた。
- 令和５年度より、ヒアリングを重ね島民説明会を行い要望を聞きながら本格運行へと踏み切ることとなった。

離島での導入実績（全国での実績）

１自治体（全国：１自治体）